

令和6年度 坂越中学校区小中連携教育 活動記録

1 令和6年度 小中連携教育研究部会具体的実践

『本年度の研究テーマ』

- 小・中学校相互の授業研究を通して、子どもたちの実態の相互理解につとめる。
- 算数と数学の内容の系統性を把握し、指導の継続性を求めて、指導の改善を図ることにより、小・中学校9年間を見通した指導の相互理解につとめる。

2 坂越中学校区の活動報告

高雄小学校・坂越小学校

○実施日：令和7年1月21日（火） ○単 元：6年生算数科「比例」

○事後協議

- ・高雄小学校、坂越小学校ともに積極的に課題に対して考える姿が見られた。
- ・問題に仕掛けがあったが、そこに引っかかることなく解くことができていた児童もいたので、よく考えて学習に臨むことができていたと感じた。
- ・小学校で学習する比例の内容を基に、中学校で学習する「比例定数」や「変域」について新たに学ぶことで、既習内容のつながりを感じることができた。中学校の学習は難しいというイメージから、不安に思う児童もいる中で、少しでも中学校での学習を体験することができたのはいい経験になった。



3 まとめ

児童にとって、好きでもあり苦手でもある算数に関しての学習を、楽しみながら行うことの良さを感じることができた授業になった。中学校の教員が小学生に対して授業することで、児童の実態を把握する良い機会になったとともに、「数学は難しい」と考えている児童に対して、これまでの学習のつながりであることを授業の中で感じさせることで、中学校への不安解消のきっかけにもなったように思う。

事後協議では、授業の内容だけでなく、小学生の内に身に付けさせたい基礎学力や、つまづくポイント、学習形態などについて交流することで、小学校での授業の工夫や中学校でのさらなる授業改善について考えることができた。今後も、積極的に情報交換を行い、小学生から中学生へと成長する過程の中で、効果的な学習方法や支援の在り方を模索し、児童生徒の自ら学ぶ力を育成できるような授業づくりに取り組んでいきたい。